

第Ⅱ章

地域社会の現状

Ⅱ－１ 千歳市の概況

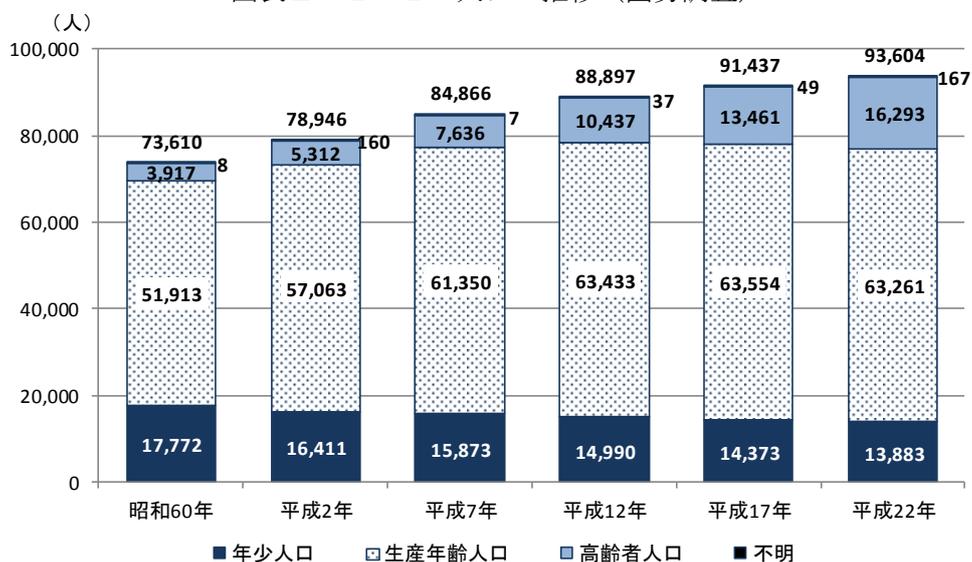
(1) 人口

①国勢調査

千歳市の平成22年10月1日現在の人口は93,604人であり、年々増加しています。

高齢者人口は、昭和60年に3,917人だったものが、平成22年には16,293人と大幅に増加しています。また、年少人口は、昭和60年に17,772人だったものが、平成22年には13,883人と約4,000人減少し、千歳市においても、少子高齢化が進んでいることがわかります。

図表Ⅱ-1-1 人口の推移（国勢調査）

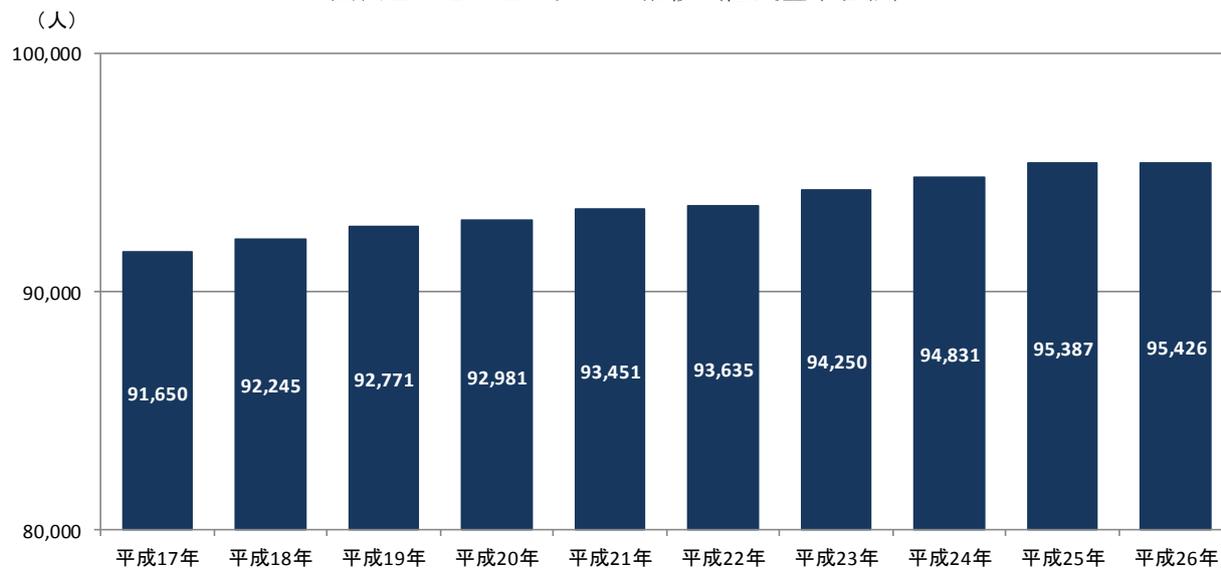


資料：国勢調査（各年10月1日現在）

②住民基本台帳

住民基本台帳の人口をみると、平成26年10月1日現在の人口は95,426人です。千歳市の人口は、近年も増加を続けており、平成17年から平成26年までの10年間に3,776人増加しています。

図表Ⅱ-1-2 人口の推移（住民基本台帳）



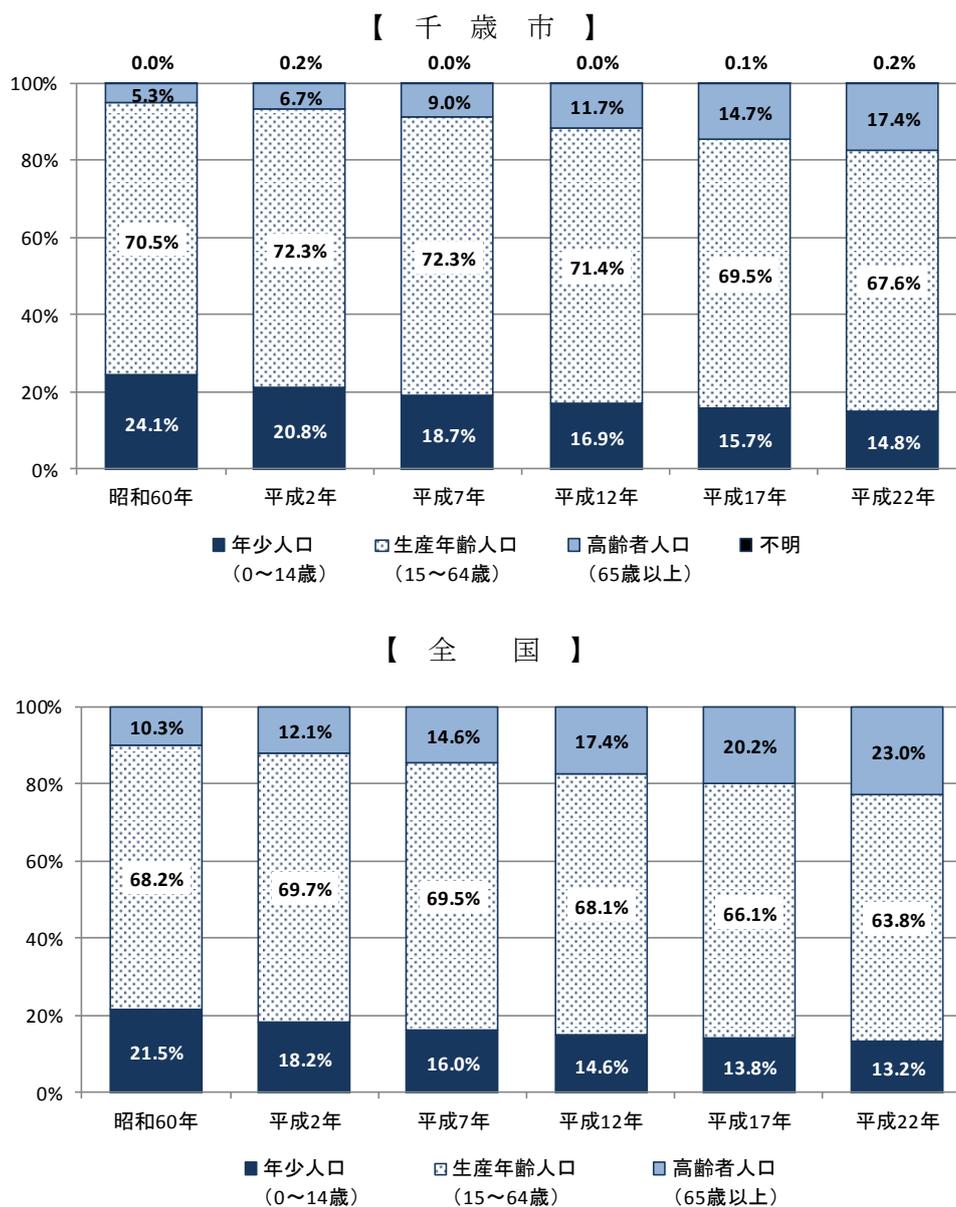
資料：住民基本台帳（各年10月1日現在）

(2) 年齢構成

年齢階層別の人口を、全国の状況と比較してみると、平成22年では、高齢者人口の割合は全国の23.0%よりも5.6ポイント低く、年少人口の割合は、全国の13.2%よりも1.6ポイント高くなっています。

高齢者人口割合、年少人口割合からみると、千歳市は全国平均より若いまちであることがうかがえます。

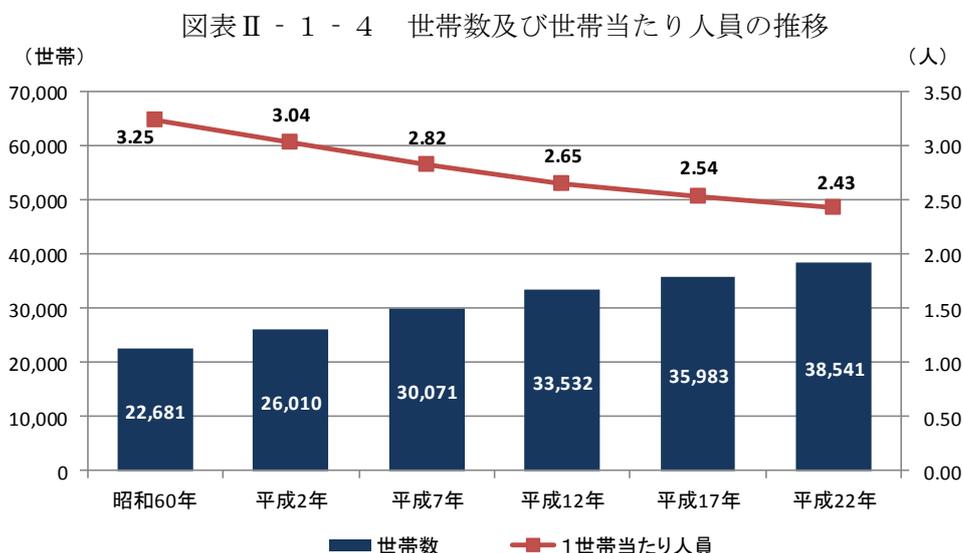
図表Ⅱ-1-3 年齢階層別人口割合の推移



資料：国勢調査（各年10月1日現在）

(3) 世帯数及び世帯当たり人員

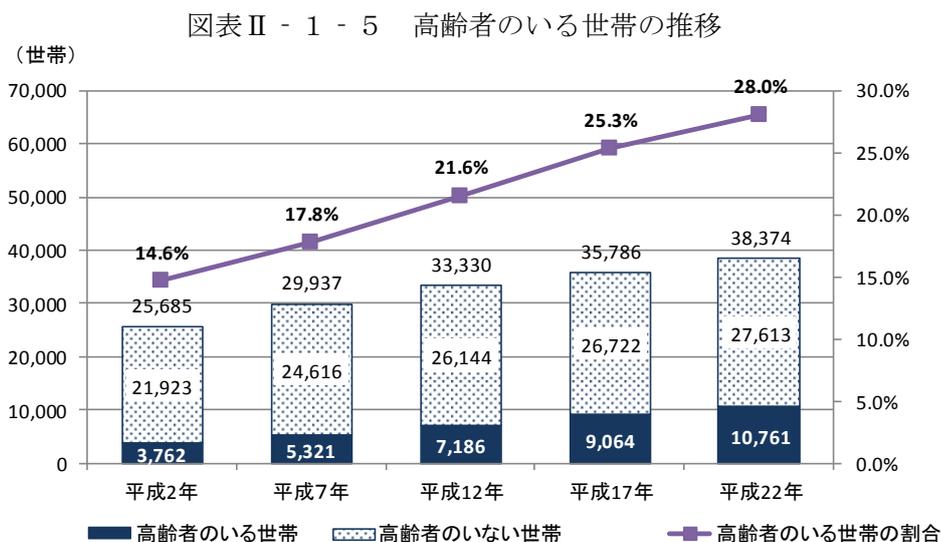
世帯数は、昭和60年の22,681世帯から、平成22年には38,541世帯と、約16,000世帯増加しています。しかしながら、1世帯当たり人員は3.25人から2.43人へと低下し、一人暮らし世帯、核家族世帯等が増えていることがうかがえます。



資料：国勢調査（各年10月1日現在）

(4) 高齢者のいる世帯

高齢者のいる世帯は年々増加し、平成2年には3,762世帯だったものが、平成22年には10,761世帯へと増加しています。また、世帯全体に占める高齢者のいる世帯の割合も高まり、平成2年には14.6%だったものが、平成22年には28.0%と、13.4ポイント高くなっています。

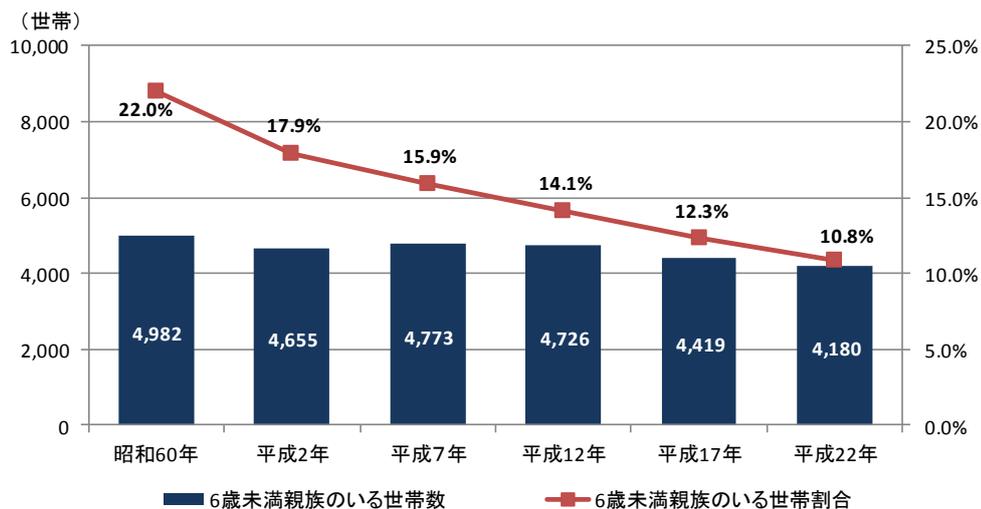


資料：国勢調査（各年10月1日現在） 世帯数は一般世帯数

(5) 子どものいる世帯

6歳未満親族のいる世帯の推移をみると、年々減少していることがわかります。昭和60年には4,982世帯だったものが、平成22年には4,180世帯となり、また、全世帯に占める6歳未満親族のいる世帯の割合は、22.0%から10.8%と11.2ポイント低下しています。

図表Ⅱ-1-6 6歳未満親族のいる世帯の推移



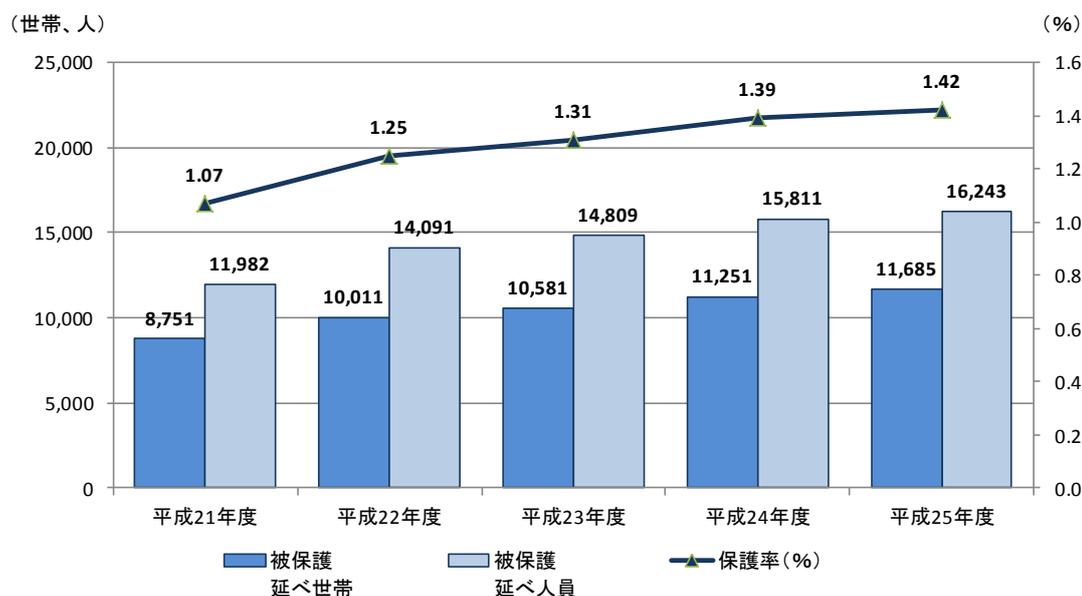
資料：国勢調査（各年10月1日現在）

Ⅱ－２ 福祉サービスを必要とする人

(1) 生活保護受給者

生活保護受給者数について、被保護世帯数、被保護人員数共に、年々増加しています。保護率は、平成21年度に1.07%だったものが、平成25年度には1.42%と0.35ポイント高くなっています。

図表Ⅱ－２－１ 生活保護受給者数の推移

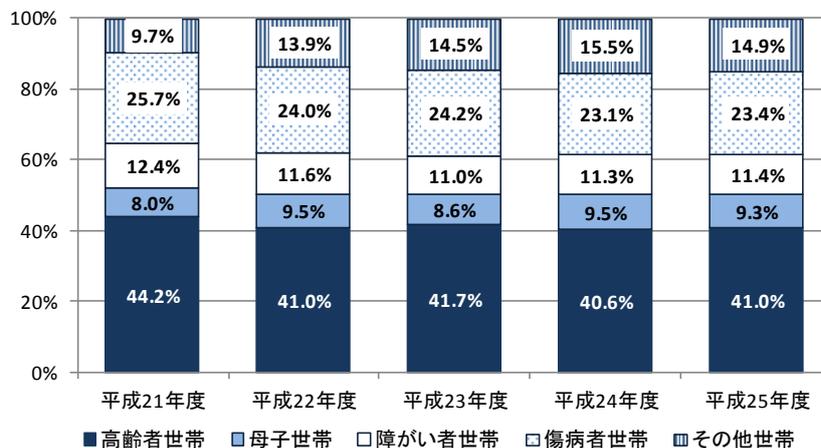


資料：千歳市福祉課

被保護「世帯」「人員」は、各年度における各月の実世帯や実人員の合計
保護率は、年度平均被保護人員の9月末住民基本台帳人口に対する割合

被保護世帯の世帯類型の推移をみると、「その他世帯」が、平成21年度には9.7%だったものが、平成25年度には14.9%と、5.2ポイント高くなっています。他の世帯類型と比較して、「その他世帯」は増加傾向が顕著です。

図表Ⅱ-2-2 被保護世帯の世帯類型の推移



資料：千歳市福祉課
月単位で集計しており、平均値を採用

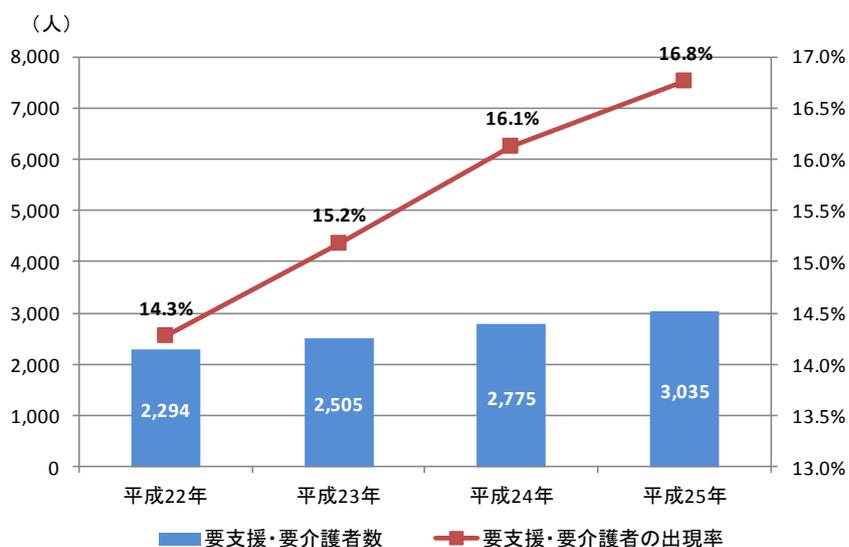
(2) 要支援・要介護者数

高齢者数の増加に伴い、介護保険制度における要支援・要介護者数も年々増加しています。

要支援・要介護者数は、平成22年には2,294人だったものが、平成25年には3,035人と、741人増加しています。

65歳以上人口に対する要支援・要介護者の割合（出現率）も年々高まり、平成25年には16.8%となっています。

図表Ⅱ-2-3 要支援・要介護者数の推移



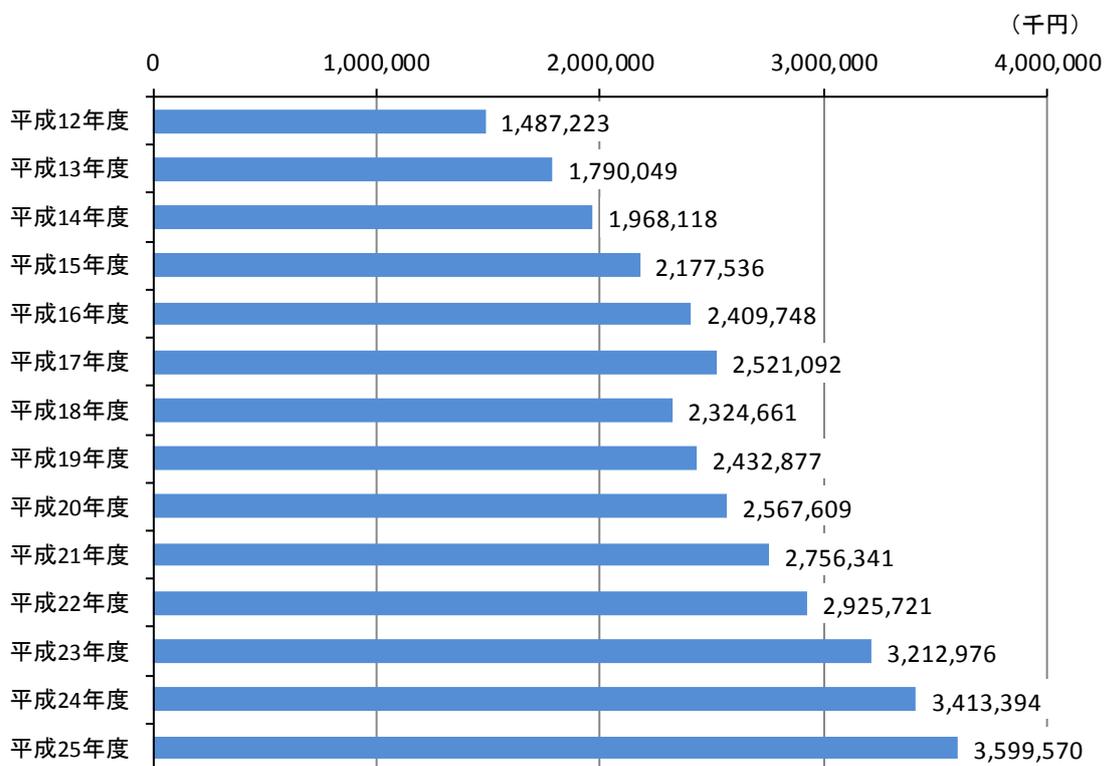
資料：千歳市高齢者支援課

要支援・要介護者数：介護保険事業報告（各年10月1日現在）

出現率：各年10月1日現在の住民基本台帳の65歳以上人口に対する割合

また、要支援・要介護者の増加に伴い、介護保険制度サービスにかかる介護給付費は年々増加しています。平成12年度の介護保険制度開始当時には1,487,223千円だったものが、平成25年度には3,599,570千円となり、約20億円増加しています。

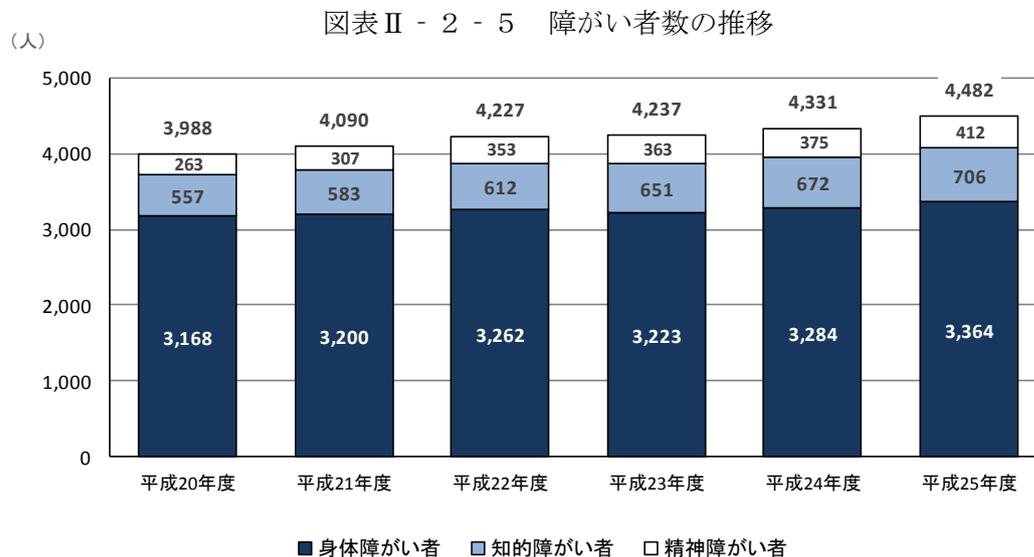
図表Ⅱ - 2 - 4 介護給付費の推移



資料：千歳市高齢者支援課

(3) 障がい者

千歳市の障がい者数（障害者手帳所持者数）について、身体障がい、知的障がい、精神障がいのいずれも、年々増加しています。



資料：千歳市障がい者支援課（各年3月末現在）

Ⅱ－3 地域活動

(1) 町内会・自治会

現在、千歳市には町内会・自治会（連合会を含む）が151団体あります。全世帯の約6割が加盟し、地域活動を展開しています。

町内会・自治会への加入世帯数は横ばいで推移していますが、加入割合は年々低下しています。

図表Ⅱ-3-1 町内会・自治会の加入世帯数の推移

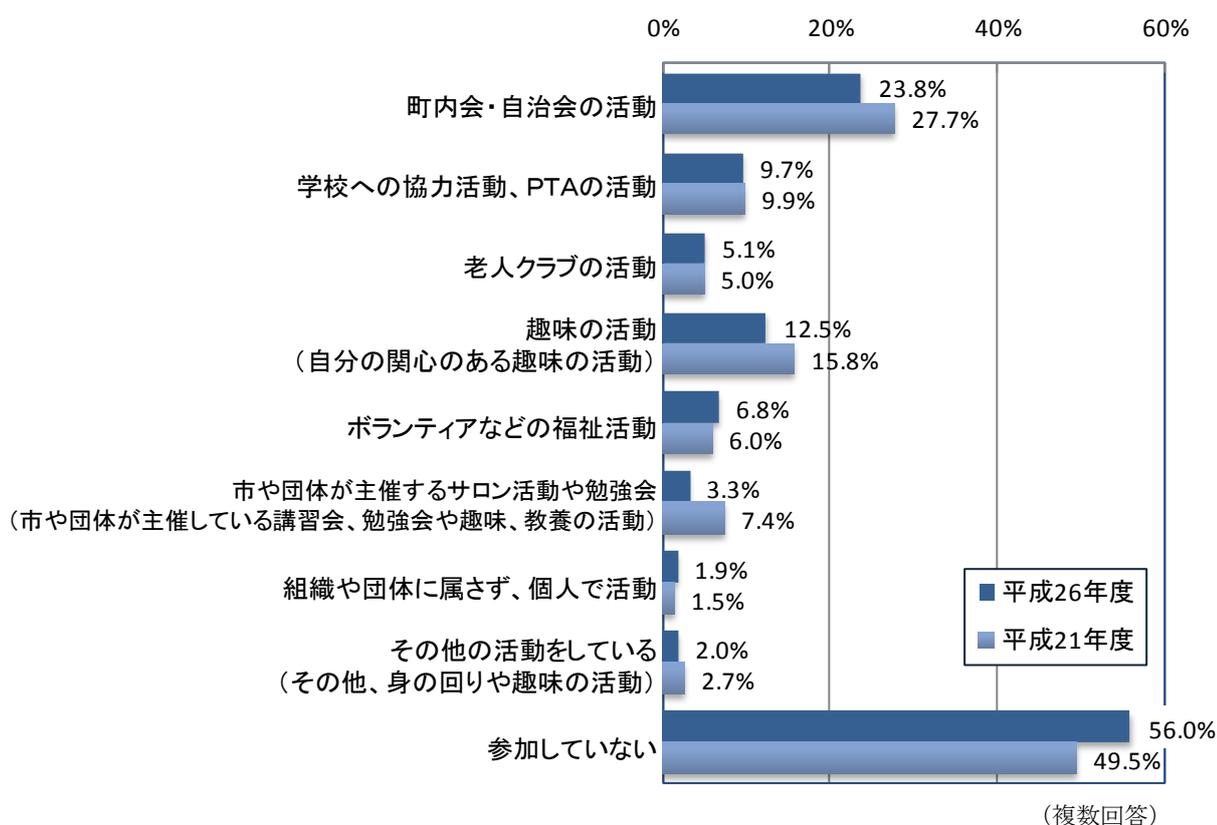


資料：千歳市市民生活課

(2) 地域活動の参加者

平成21年度、平成26年度に実施した「千歳市地域福祉計画策定のための市民アンケート調査」の結果によると、町内会・自治会の活動に参加していると回答したのは、平成26年度調査で23.8%であり、平成21年度調査の27.7%と比べて3.9ポイント低くなっています。

図表Ⅱ-3-2 参加している地域活動（平成26年度、平成21年度市民アンケート調査より）



平成 26 年度調査で、地域活動に参加していないと回答した方に、参加していない理由をたずねたところ、「活動の時間帯や頻度が自分の生活とあわない」(37.9%)、「自分や家族の用事があり、時間がとれない」(26.3%)、「活動の内容がよく分からない」(25.2%)などの割合が高くなっています。

市民の地域活動への参加を促す取組として、地域活動やボランティアに関する情報の周知や働いている人なども参加しやすい活動の時間・頻度について工夫することが必要です。

図表Ⅱ - 3 - 3 地域活動に参加していない理由（平成 26 年度市民アンケート調査より）

